

議事要旨(4) 無形資産に関する検討について

冒頭、新井副委員長（専門委員長）より、前回の委員会での検討を受けて、本日は開示項目と使用可能に至る前の無形資産の減損会計の取扱いについて検討を行う旨の説明があり、審議事項(4)に基づいて、矢島研究員より具体的な論点の内容に関する説明が行われた。その後、質疑応答が行われた。主な発言内容は以下のとおりである。

- ある委員から、注記事項として挙げている「期首及び期末の、償却累計額控除前の帳簿価額及び償却累計額」について、償却累計額は減損損失累計額を含まない旨を明示してはどうかという意見があった。また、使用可能に至る前の無形資産について、減損の兆候がある場合に減損損失を認識するかどうかの判断を行うとしているが、減損の兆候がある場合に加え、毎期減損テストを行わなければならないとする IFRS の取扱いと異なっていることを示しておかなくてよいかという確認があった。これに対して、事務局より、会計基準案の他の項で償却累計額と減損損失累計額を区別して記述していることから、減損損失累計額が償却累計額に含まれないことは明示しなくても理解できると考えられる旨の説明がなされた。また、使用可能に至る前の無形資産の減損については、我が国の現行の取扱いによっても適切な対応がなされることが考えられるため、IFRS と取扱いが異なることをあえて示す必要はないと考えられる旨の説明がなされた。

以 上